

西河技術経営塾研究科前期 講義録 SH05

作成：渋谷 加津美

**日時**：平成 29 年（2017 年） 9 月 28 日（金）午前 11 時 00 分 ～ 午後 1 時 00 分

**場所**：アーネスト育成財団内会議室（渋谷区代々木 1-57-2 ドルミ代々木 704 号）

**講師**：小平和一郎

**研究生**：渋谷加津美

**講義名**：(SH04)<sup>1</sup>「第 5 章戦略の基礎と技術経営の担当部のストーリーを決定する」（4）

**提出資料**：第 5 章の講義資料の 25 頁～48 頁部分の講義原案

## 講義内容

### 1. 概要

第 5 回目（SH05）の講義（研修）を行った。内容は、以下の通り。

第 5 章「戦略の基礎と技術経営を学ぶ」についてのレジュメに関しては、今回提出分を FIX とし 30 分を目処に講義範囲を見直し、15 頁分を担当することに決定した。

### 2. 研究内容

#### （1）概要

資料「講義原案」の課題部分について質疑形式で行った。

講義時間を考慮して、担当部分の見直しを行った。（32 頁～40 頁、43 頁～48 頁を担当）  
体験談も含め、講義できるように準備すること。

#### （2）ローエンド製品による市場破壊

時として、「破壊的技術」が現れ、短期的には製品の性能を引き下げる効果を持つイノベーションにより、ハイエンド製品を駆逐してしまう場合がある。

技術革新のペースがときに市場の需要のペースを上回るため、競争相手より優れた製品を供給し、価格と利益率を高めようと努力すると、市場を追い抜いてしまうことがある。これを示したのが 39 頁の図である。

自分自身の実体験で講義できるように本講演内容を研究する。

#### （3）破壊的イノベーション

第 10 回技術経営人財育成セミナーのセブン-イレブン・ジャパンの情報システム事例が本イノベーション事例となるため、本講演資料を参考に破壊的イノベーションを理解するとともに講義での参考資料となるよう組み立てを行うこととした。

### 3. 次回までの宿題

#### ・第 5 章講義の組み立て

15 頁分の講義範囲内において質問事項があれば、10 月 18 日～24 日の間に相談する。  
10 月 4 日、11 日の塾に参加し塾生の学ぶべき課題を認識できるよう努める。

### 4. 次回日程

（1）次回日程 10 月 25 日（水）第 5 回塾講師担当日に決定する。

#### （2）参考資料

研究の参考資料として、下記を選定した。

『第 10 回技術経営人財育成セミナー講演資料』：碓井誠 オピニオン代表取締役社長

『イノベーションのジレンマ』クレイトン・クリステンセン著

以上

---

<sup>1</sup>（注）SH01：SH とは、Shibuya のこと。01 は、1 回目。第 3 回は、SH03 となる。